

市長と共に語ろう 地区懇談会

市長と共に語ろう「地区懇談会」が5月29日羽生小学校校体育館を皮切りにスタートしました。

この懇談会は、行政と市民が一体となった協働のまちづくりを進めるため、市内13か所ですべて直接市民の皆さまからの意見・提言などをお聞きし、市政に反映させるために始めたものです。

今回は、玉造地区の懇談会の主な内容について紹介します。



玉造地区

自衛隊と米軍合同訓練

問 日米合同訓練の内容についてですが、どこでどのような訓練が行われるのですか。

答 防衛庁からは、1回あたり3日〜15日、平均約4週間の制限の中で、自衛隊と米軍の共同訓練が行われるもので、どこでどのように訓練を行うかは決まっております。来年度以降決定されるそうです。

問 防音工事の助成が対象となる区域はどこまで拡大されるのですか。

答 現在防衛庁に、区域を拡大してくれるよう、要望しています。

問 騒音測定器を設置して騒音の分布図を作り、その数値をもとに地域振興策の支援について、防衛庁に交渉してはどうでしょうか。

答 現在、国に現原小学校付近に騒音測定器を設置してくれるよう依頼しています。また、市でもできるだけ対応していきたいと考えています。



財政状況について

問 行方市の財源は裕福といえるのでしょうか。県内では何番目に位置していますか。

答 財政力指数では、行方市は県内で下から4番目であり、裕福とはいえません。

問 市の税収はどうですか。

答 16年度の市の税収率は、国保税を除くと県内で33番目です。個人住民税は14番目、固定資産税は24番目です。

問 行方市が使える合併特例債は、174億円とありますが、これを全て使ったら、実際返すのはどのくらいですか。

答 合併特例債は新市のまちづくり計画に使うもので、最大10年間

をかけて使うことができます。このうち最大で自己資金分の95%が借りられ、返済額の70%を国が交付税で賄ってくれるものです。174億円全て使った場合、およそ50億円が市の負担となります。

市民協働企画について

問 今まで行政でしてくれたことも、自分たちでできることは自分たちでやっていくという市民意識改革がないと、財政は大変だと思えます。市から区長会等を通じて、私たち住民にもできることをお示ししてくれれば、町内や個人でもやりやすくなるのですか。

答 今までも通学路の清掃などはPTAや地域の方々にもお願いしてきました。今後も、ぜひみなさまのご協力をいただきたいと思います。



問 山林や田が荒れているのが多いと思います。自然の景観の整備として、道路や公共施設の草刈などで、できるだけ区や班の組織で、また老人でも動ける人を募ってはとうでしょう。

答 遊休農地は農業委員会が主体となり、昨年からボランティアで梅を植えています。これはボランティアの奉仕でなければ持続できないことです。周囲の方々に取り組んでいただければありがたいと思います。

行政改革の窓口

問 土日・祝日の窓口はどのくらい市民に浸透していますか。

答 現在土日のみ2名ずつの勤務体制で3庁舎で行っており、業務内容は戸籍、住民票、印鑑証明の交付のみです。利用者は1日あたり2、3名です。



問 玉造庁舎の窓口に行ったら、職員は書類の内容が分からないので、北浦庁舎まで行くことになりました。市民サービスと行政のスリム化がみ合っていない気がします。

答 4月に職員数を減らして機構改革を行ったため、庁舎によって受付できない業務があり、みなさんにご不便をおかけしています。簡単な受付業務は各庁舎窓口でできるようにしていきたいと思っています。

問 たんに職員を減らすのではなく、仕事を分析して適正人数を配置してほしいと思います。

答 4月から行政改革推進室を設け、ここで6つの検討会議を行っています。また、職員の適正配置についても協議していきます。

問 パブリック・コメントとはどのようなものですか。

答 広く一般住民の意見をいただく制度のことで、国もこの制度を進めています。市が策定する計画書等に対して、市民のみなさまに意見を求め、反映させるもので、行方市は制度としていち早く導入しました。



懇談会

問 懇談会の前に資料に目を通せるよう、次回には回覧などで事前に資料を配布してほしいのですが。

答 今後、要約したものを回覧等で事前に配布できるよう、考えていきます。

鹿島鉄道

問 鹿島鉄道存続の援助に対する動向はどうなっていますか。

答 今まで沿線自治体と県が5年間で2億円、親会社の関東鉄道が3億円助成をしてくれましたが、年間4万人ずつ利用者が減っている状況です。乗客数が上昇する対策が取れるかどうかが問題です。10月には存続の可否を決定するので、4市(行方、鉾田、小美玉、石岡)で真剣に話し合っているところです。

問 防衛庁から補助をもらって、第三セクターで運営していくことはできませんか。

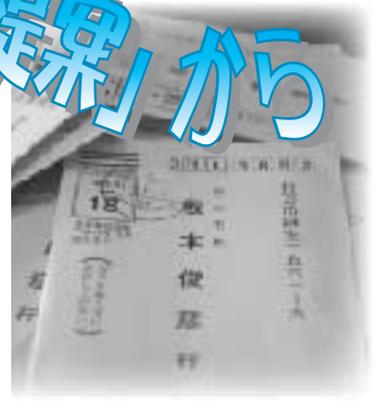
答 日立電鉄の例では、第三セクターの全国公募をしましたが、結果的には、どこの会社も名乗り出なかつたということでした。このご意見については、今後検討していきたいと思っています。



地区懇談会 出席者人数

月日	地区名	人数
5月29日	立花	65
5月30日	現原	52
6月3日	玉造	25
6月5日	手賀	91
6月9日	玉川	96
6月23日	津澄	64
6月26日	要	33
6月27日	武田	34
6月29日	太田	29
6月30日	大和	32
7月2日	麻生	79
7月3日	小高	32
7月4日	行方	39
合計		671

「私の提案」から



皆さんからいただいた「私の提案」について、一部ご紹介します。

学童保育サービスを見直してほしい

提案 学童保育時間の延長と、学区外入学しなくてもつかえる学童保育を望みます。

そして、フルタイム勤務で働く人が利用できる、本当に切実に仕事と育児の両立に悩む人が願う学童保育サービスを作って欲しい。

支援サービスの充実を図りたい

回答 学童保育は、小学校単位での実施が求められていますが、指導員を常時2名配置する関係で、希望者がごく少ない場合に実施が難しくなってきました。社会情勢や利用希望者は常に変化しますから、今後、市としてアンケートなどにより利用ニーズを把握しながら支援サービスの充実を図っていきます。

また、預かり時間については通常放課後から午後6時、長期休業

中は午前8時から午後6時となっています。この前後の必要時間については、社会福祉協議会が窓口となり実施している保育サポート制度がありますので、お気軽にご相談下さい。

温水プールを作ってほしい

提案 今後、高齢化が進み、ますます医療費が増えるので、健康増進からも「白帆の湯」に温水プールを作ってほしい。

多方面から検討していきたい

回答 ご提案の趣旨は「健康づくり」が第一であることを含めて、誰もが異論のないところです。現在の医療費の状況や介護保険のあり方をみても、当然のご意見です。また、アンケート等で行政への要望としても挙がっております。

しかし、当市は投資的な経費に

回せる財源が非常に乏しく、学校等の改築の例を見ましても、県や国との事業調整作業を行いながら、かなり長い準備期間をかけて実現に至っております。

今後の具体性については、現在市では、総合計画を策定している段階なので、事業計画素案のテーマに載せていただいて、その後、多方面から検討を加えさせていただきたいと思えます。学校関連や一般市民の利用動向などと併せて、継続して検討してまいります。

